

「平成 30 年度 第 72 回東白川中学校卒業証書授与式」村長祝辞

三寒四温の言葉通り故郷の山河に、日ごと春の足音を感じる今日のよき日、伝統ある東白川中学校を卒業する 27 名の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。

また、今日まで皆さんを深い愛情で見守り、育てて来られました保護者の皆様にも心からお慶びを申し上げます。

そして、古田校長先生をはじめ教職員の皆様方には、これまで温かく、時には厳しく子供たちを導いていただいた御労苦に対し深く感謝を申し上げたいと存じます。

幼さがどこかに残っていた 3 年前の皆さんを思い出すと本当に心身共に逞しく成長された今日の姿に、私も御家族、先生方と同じように大きな喜びを感じます。

あらためて村民の皆様を代表して、今、大きな夢と希望を胸に思い出が一杯ある東白川中学校を巣立とうとしている卒業生の皆さんに、お祝いと励ましの言葉を贈りたいと思います。

皆さんは、この東白川中学校で多くの事を学び、身体を鍛え、そして友情を育んできました。しかし、それは一人ひとりの力だけで成し得られたわけではありません。

ここまで皆さんを励ましたくさんの愛情をもって、育て見守って下さった御家族、恩師の先生や、地域の皆様の温かい心があってのことであり、その方々に対する感謝の気持ちを忘れずにいて欲しいと思います。

また皆さんの中には、これから村外で生活する人も多いかと思いますが、どうか御両親から授かった心身を大切にして下さい。自立していくということはそれだけ困難や危険に遭遇することも増えてきます。勉学やスポーツ、友達との交流などを通じて体力や知力、学力を身につけ自分の健康を守り維持してこそ、それぞれの夢や希望を叶えることができるのです。

卒業生の皆さんは、村の広報に寄せてくれたメッセージや『ふるさと学習発表会』で発表してくれたように東白川村のことを真剣に考え、故郷を誇りに思い、いろいろな夢を持って羽ばたこうとしています。

これからこの村を離れることになっても、東白川村をいつまでも忘れずに、そして機会に恵まれたならばこの村に帰ってきて、若い力で活躍いただけたらこの上ない喜びとするところであります。

東白川村は未来永劫、あなた方の故郷であることに変わりはありません。

私たち東白川村民は、皆さんが育ったこの故郷をしっかりと守り次の世代に引き継いでいきます。

結びに、卒業生の皆さんと御家族の皆様の末永い幸せをお祈り申し上げまして祝辞といたします。

平成 31 年 3 月 5 日

東白川村長 今 井 俊 郎